

平成29年度 第4回運営委員会議事録（メモ）

於：平成29年11月26日（日） 16:30～ 豊水会館・会議室B

○中村団長挨拶

練習後のお疲れのところ集まって頂きありがとうございます。来年度の定演実行委員会も具体活動をスタートさせましたが、来年は団創立25周年の記念式典も計画しなければならない。議論をよろしくお願いします。

○第24回定期演奏会の総括報告（鈴木実行委員）

- ・プログラムなどの印刷は昨年同様にネット印刷で安価に済ませた。なお、印刷物の製作はパソコン作業が必須であり、パソコンに得手な人が必要になる。全団員からの協力を仰ぐことが必要となる。
- ・収入については協賛金収入が昨年を上回っている。ただ、全団員に協賛金の主旨が伝わっていないのではないかと感じた。
- ・支出増となったが、舞台転換に人員を要したり、退団者によるエキストラ増などによる経費増となった。
- ・決算については別紙表を参照。

○団員現況について（鈴木副団長）

- ・11/1付けの新たな休団者は、フルート：高橋（幸）、ホルン：中屋、ユフォニウム：三谷、チューバ：吉川
- ・仮団員はフルート：岡崎（千）
- ・団員募集は、テナーサクソ、オーボエ、バスーン、ホルン、ユーフォニアムの5パートを継続募集中。12月に入ってからテナーサクソ（兼バスーン）で見学予定あり。

○創立25周年式典実行委員会について

- ・実行委員長は中村団長が引き受けてくれることになった。式典の具体化については運営委員会で検討を行い、実行委員会を早急に立ち上げることとする。
- ・この為の運営委員会を12/24に行う。

○創立25周年記念誌発行編集委員会について

- ・15周年記念誌、20周年記念誌の発行を担当してくれた古川氏が今回も編集委員長を引き受けてくれる事となった。編集委員は、大澤、伊藤が担当する。
- ・新年早々に編集委員会を開き、具体的な編集をスタートさせる。

○第26回定期演奏会の日程について

- ・第1案の2019年10月20日（日）で、かでの2・7 かでのホールを予約。
- ・参考として、第25回定期演奏会は2018年10月14日（日）かでの2・7 かでのホール

○平成30年度練習カレンダーについて

- ・スケジュール案を作成して豊水会館館長に提案していたが了解を得られたので、例年通り12月にホームページ掲載と団員配布を行う。

○団費徴収の考え方について（資料参照）

- ・現在、団費については全団員が半年あるいは1年の割引一括払いであるが、年度途中の入団者については、割引特典利用ができない期間が発生するなど不明朗な部分があるため、規定の見直しを行う方向で検討を進めることとする。

○平成29年度の練習出席率について（資料参照）

- ・平成29年度（第23回定演終了後～第24回定演までの期間）の出席率は前年に比べて若干ではあるが改善されているパートがあるものの、全体的にはやや低下している。充実した合奏の為にもさらなる努力を期待したい。

○次回運営委員会 1月21日（練習日） 16:30～

平成29年度 第4回運営委員会・メモ

2017/11/26 16:30 ~
於：豊水会館・会議室B

1. 第24回定期演奏会の総括報告（阿部薫 実行委員長）
 - ・定期演奏会終了報告
 - ・決算報告

2. 団員現況（鈴木副団長）

2017/11/12 現在

パート	定員	団員	仮団	休団	募集	パート	定員	団員	仮団	休団	募集
フルート & ピッコロ	5	3	1	1		トランペット & コルネット	8	6			
オーボエ	2	1			○	ホルン	6	3		1	○
バスーン	2			1	○	トロンボーン	5	5			
E♭ クラリネット	1	1				ユーフォニアム	3			1	○
B♭ クラリネット	1	0	1	0		チューバ	3	2		3	
アルト・クラリネット	1					コントラバス	1				
バス・クラリネット	1	1				パーカッション	5	5			
ソプラノ・サクソ	1										
アルト・サクソ	2	2									
テナー・サクソ	2	1			○						
バリトン・サクソ	1	1				合計	59	41	1	7	

（集計に団長含まず）

3. 25周年式典実行委員会について
 - ※実行委員長：中村 暁生 ※実行委員：
4. 25周年記念誌発行編集委員会について
 - ※編集長：古川 亨 ※編集委員：大澤 美和、伊藤 英明

2. 第26回定期演奏会日程

平成31年10月20日（日） 道民活動センター（かでの2・7）かでのホール

＜参考＞ 第25回定期演奏会

平成30年10月14日（日） 道民活動センター（かでの2・7）かでのホール

6. 平成30年度練習カレンダー

7. その他

第24回定期演奏会終了報告

H29.11.21 実行委員長 阿部 薫

・プログラムについて

昨年同様ネット印刷とし、業者を変えさらに安価にすることが出来た。
しかし、パソコンでの原稿作成が必須であることから、委員の中にパソコンに得手の方がいないと難しい。団員の中で出来る人への協力も考慮しなければいけない。

・収入について

協賛金、広告は例年同様と単に進めてきたが、主旨、協力方法など団員に伝わっていないと感じた。個々の目に触れるよう配布し周知協力をお願いすべきと思う。

・支出増について

演出上、舞台転換に人員を要した事、予算計上後に退団者によるエキストラの増員でエキストラ、お手伝いに関わる経費が増額となった。

・経費検討について

会議、指導、楽器運搬に関わる経費（補助等）が大きいと担当会計より報告あり。
団員として当然の協力であると考えたと補助をすべきかどうか判断に苦慮した。定期演奏会だけの事とするか団の活動の一環と考えるのか、補助のあり方について、運営委員会の見解も必要と考える。

以上

北海道シニア吹奏楽団 第24回定期演奏会 決算報告書

○第24回定期演奏会 収支

(単位：円)

科 目		第24回決算 ①	第24回予算 ②	増減 (①-②)	備 考	(参考) 第23回決算
収入の部	チケット販売収入	267,000	240,000	27,000	団員 366枚、藤野小父母会 50枚 プレイガイド 21枚、当日券 97枚 計534枚	248,000
	協賛広告収入	190,000	175,000	15,000	協賛広告 18件 128,000 個人協賛金 21件 62,000	182,000
	収入計	457,000	415,000	42,000		430,000

支出の部	会場使用料	117,200	121,000	-3,800	第26回定期演奏会用 かでのホール・リハーサル室等	117,200
	会場設備使用料	83,750	80,000	3,750	山台、椅子、譜面台、指揮台、マイク 照明器具等	83,030
	前日練習会場使用料	27,200	28,000	-800	第26回定期演奏会用 レクリエーション研修室、リハーサル室	27,200
	プログラム等印刷	45,879	58,000	-12,121	プログラム、チケット、チラシ アンケート用紙等	57,953
	楽器運搬費	32,400	34,000	-1,600	2トントラック×2回(往復)	5,940
	音楽著作権使用料	11,253	11,000	253		11,253
	クイズ景品	8,572	10,000	-1,428	4問分(梱包費含む)	9,596
	昼食代	10,747	9,000	1,747	司会者、エキストラ、受付	9,360
	謝礼	99,000	83,000	16,000	謝礼11名(司会者、エキストラ4名 受付・お手伝い5名)、写真撮影代 打上参加費用5名(司会、エキストラ4名)	85,000
	その他諸経費	89,301	81,000	8,301	会議室使用料、事務用品、コピー代 郵便代、振込手数料、チケット販売手数料 小学生指導交通費補助	49,915
支出計	525,302	515,000	10,302		456,447	
収入差 (収入 - 支出)	-68,302	-100,000	31,698		-26,447	

○決算処置

(単位：円)

一般収支からの繰入	68,302	100,000	31,698	収支差相当額を一般収支から繰入	26,447
-----------	--------	---------	--------	-----------------	--------

北海道シニア吹奏楽団 平成30年度・練習カレンダー(案)

2017/11/17

4月 Eup/Tu/Perc						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月 Pic/Fl/Ob						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月 Cl						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月 Sax/Bsn						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月 Tp						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

9月 Hrn						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10月 Tb						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月 Eup/Tu/Perc						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月 Pic/Fl/Ob						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月 Cl						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月 Sax/Bsn						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月 Tp						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



練習日(定期演奏会直前以外は基本的に隔週)



5/27 平成30年度総会 & 練習 (総会: 10:00~12:00、練習: 12:30~)



演奏会 2017/10/14 第25回定期演奏会

2018/02/11 第10回シルバーハイツ・ロビーコンサート

※ 各月欄のパートは懇親会幹事、コーヒー準備などの当番。

■検討用資料（団費前納割引制度の見直しの是非について）

1. H27.2月の規約改正以前

- ・以下のような規定があった。（夫婦団員の場合は省略）

団費（年額）	月払い	2回払い	1回払い
個人団員	2,000円×12回	10,000円×2回	20,000円×1回

- ・運用実態

支払い回数の定めはあるが期間の定めがないので、実行上、2回払いの対象期間を、4月～9月の上期と10月～翌3月の下期に固定していた。

問題点（例）・・・6月に休団復帰し、同年12月に再度休団になった場合・・・活動期間が7ヶ月（6ヶ月を超える）だが、上記の上・下期のいずれの期間にも当てはまらないので割引の適用はなし。→前納扱いにならない。

2. 改正後の現在の制度

- ・改正時のポイント

期間の単位を1ヶ月とし、固定された2回払いの上・下期の枠を撤去し、4月～翌3月の範囲内であって団費対象月数が半年分（6ヶ月分）以上であれば、「半年分前納」の割引対象と規定した。（上記1.の問題点は改善した。）

区分	1ヶ月	半年分前納	1年分前納
団員（単独）	2,000円/月	10,000円/半年	20,000円/年

3. 今回見直し後の制度案（タタキ台）

- ・主旨・・・年度の枠を超えて割引を適用させ、さらに、割引制度を使いやすくする。（ただし、団費会計事務を見直すことが前提）

【具体案】

年度内という制限を撤廃し、いかなる場合でも、申し出があればその期間と団費の金額に応じて割引を適用する。

（例）7月に休団復帰して、向こう1年分の団費を前納する場合の比較

区分	必要な団費	算定根拠	記事
現在のやり方	22千円	7月～12月分（6ヶ月）の1万円 翌1月～翌3月分（3ヶ月分）の6千円 翌4月～翌6月分（3ヶ月分）の6千円 } 計 22千円	1ヶ月分（2千円）が 割り引かれる。
見直し後	2万円	1年分前納を適用＝2万円	2ヶ月分（4千円）が 割り引かれる。

（課題）

上記案を実行すると、団員個人ごとに各人の「前納対象期間」がばらつくことになり、団員個々人が「何時までの期間分を支払ったか・・・」を正確に把握していないと、団費を受領する事務局との間に思惑の違いが生じる。そのため、団員側・事務局側の双方が、今まで以上に、「何時を対象にした団費なのか・・・等」を共有し、きっちり管理する仕組みが必要になる。

また、受領した団費に、翌会計年度分が入ってくるため、この場合の会計処理（年度末決算処理）を定めておく必要が生じる。

<参考資料>

H29.11月26日

副団長 鈴木

■H29年度の出席率について

定演年度（昨年の定演終了後から今年の定演直前までの1年間）における平均出席率のH29年度実績、及びH28年度との比較は、以下の表のとおりです。

H29年度では、一部のパートで改善が見られるものの、悪化しているパートも多いため、全体ではやや下降しています。

この出席率は、対象期間中の休団期間等を除いた稼働期間を元にして算出しています。したがって、団員個々人の出席度合いが反映されたものになっていますので、充実した合奏を楽しむためにも、一人一人のさらなる努力を期待したいと思います。

◎平均出席率の年度別比較：パート別

年度	FL./PICC/Ob	Cl/B.Cl/E.Cl	Fg/Sax	Tp	Hr	Tb	Eup/Tub	Perc	全体
H29年度	75%	78%	77%	83%	80%	72%	54%	59%	72%
H28年度	71%	77%	69%	88%	81%	76%	69%	72%	75%
増減	4%	1%	8%	-5%	-1%	-4%	-15%	-13%	-3%